



職員らに迎えられ初登庁する小沢市長（写真左）、就任式で市政に対する熱い思いを述べる（写真下）

# 小沢昌記市長が誕生 新たな市政が動き出す

任期満了に伴う奥州市長選挙が3月14日に行われ、小沢昌記氏が新たな市長に決まりました。3月19日、自宅から歩いて初登庁し、市職員からの花束と拍手で出迎えられました。市長就任に当たり、小沢市長から市民の皆さんへごあいさつを申し上げます。



## 「幸せを実感できるまち ・奥州に」



おざわ まさき  
市長 小沢昌記

**Profile**  
東京経済大卒。㈱小沢幸取締役。平成11年旧水沢市議に初当選。18年初代奥州市議会議員に就任。51歳。水沢区東町出身。

このたび、2代目奥州市長に就任いたしました小沢昌記です。合併により誕生した奥州市が市民の皆さまに「幸せを実感できるまち」となるような市政運営に、誠心誠意努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

本来、市町村合併は、財政状況、雇用・経済、少子高齢化社会などの諸課題に対応しながら、地方分権など新たな時代に対応する、明るい将来展望のある奥州市に「変えていく」ために行われたものであります。この目的の達成のため、市発展の原動力となる市民皆さまの力を結集し、「幸せを実感できるまち」を創りあげていかなければならない、と強く決意しているところであります。

このようなまちを実現していくための基本理念として、次の3つを申し上げます。

1つ目は「ふるさと奥州の素晴らしさをもっと見直そう」ということです。奥州市の歴史・自然・教育・文化・産業・環境など、数多くの素晴らしい土台を生かし、地方からの発想による、住民が希望を持てる「奥州市らしいまちづくり」を推進してまいります。

2つ目は「市民、団体、事業者などと共に進める協働のまちづくり」であります。市民が地域発展の主役となり、行政が市民活動をしっかりと支える体制をつくり上げ、各地域が個性豊かに活性化できるよう努力してまいります。

3つ目は「行財政の効率化と施

策の効果的な展開」であります。各種計画や施策などについて市民目線で必要な見直しを進めながら、健全財政の堅持と財源の確保を図り、選択と集中を基本に、公平で効果的な予算執行に努めてまいります。

以上の基本理念を踏まえ、マニフェストに掲げた「13の約束」に基づき、各施策を着実に実行してまいります。

奥州市の限らない発展のため、13万市民と共に全力で取り組む所存であります。市民の皆さまの特段のご理解とご協力をお願い申し上げます。

奥州市長

小沢昌記